

シンドローム	バロール ウロボロス		ワークス	レネガイドピーイングC	カヴァー	骨董品店店員
	オブショナル		年齢	90程度（外見15）	性別	女性型
覚醒	素体	衝動	妄想		初期侵食率	43%
出自	人工生命	経験	旅		邂逅	ビジネス

[illegible]

レネゲイドウイルスが拡散されるよりも前、戦時中にとある国で秘密裏に開発されて唯一成功した人型殺戮兵器。レネゲイドに感染したことにより生命が宿ったが、本来であればその研究は実るような内容ではなかった。

そして彼女が持っていたのは、求められていた圧倒的殺傷能力ではなく、集中力次第では砲撃や空襲なども防ぎきる可能性のある圧倒的防衛能力であった。その当時としては非常に珍しい能力であったため、防衛兵器ではなく研究対象として扱われていた。

そうした研究対象としては有り得ないほど大切に扱われており、彼女も研究には協力的であった。

その後戦争の結果、国はそれに敗北、それにより彼女のいた研究所も非人道的な研究を行っていたとして肅清され、研究員は一人残らず処分される。

そして彼女が持ち去ったのは、ただかか人間を殺せる程度の火力では彼女を殺すことなどできなかった。しかし彼女はその力で研究員達を護れなかったことを悔いている。

研究が明るみに出ることなかったのも、研究所が破壊された後は何を目的にしている訳でもなく何十年も各地を転々とし、近年日本に来てからは骨董品店店主の入川幸鷹の世話になっており、実の子・実の孫のように扱われている。彼女自身も過去を思い出しているのか、彼のために店の手伝いをするなどして、日々を送っている。

彼女の目的は護りたいと思う者を全力で護ることであり、それを遂げるためならばUGNやFHと協力も敵対もすることもあり、特定の組織に属入れているということはない。

「アルファルド」とは孤独な者を示す名である。